

謹賀新年
開運招福

石 鎚 社 報

発 行 所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

1・2月号



道

石鎚信徒の皆さま、
明けまして、
おめでとうございます。

昨年はコロナ禍で過ごした一年でした。今年こそは、平和で元氣ある年であってほしい。そう祈らずにはいられません。

祈りには「個」と「公」(おおよけ)とがあると存じます。個の祈りとは、我が家の家内安全、身体健康、商売繁盛、合格祈願など。公の祈りとは、我が家と同時に隣家の安泰を祈る。我が町、我が国の安泰を祈る、公の心。

互いが同じ思いで隣家の幸せを祈ることができれば、必然、争いは起きない世と成るでしょう。一視同仁。自分の幸のように人の幸を願う「徳」こそが「仁」であります。

コロナ禍の沈静は世界共通の祈り。自由主義国も共産圏も違いはありません。公の祈りの発露の時です。新玉の年の初めにこそ、公の祈りを奉りましょう。

武智

皇紀二六八一年

令和三年 辛丑 かのとし 元旦

謹賀新年

石鎚神社 第十六代 宮司
石鎚本教 第六代 管長
武智正人全国の石鎚の信徒の皆様、
明けまして
おめでとうございます。謹んで皇室の弥栄と
日本国の安泰、
皆さまのお幸せと
子孫繁栄を、
お祈り申し上げます。厳しくも美しい純白の霊
峰石鎚山姿を初春に拝し、
今年一年間をまたと一緒に
歩んで参りましょう。お家の神棚に
新年の新しいお神札を
おまつりしましょう。神仏先祖に祈る時、人は
誰しも素直になります。私
たち日本人は昔から、新年
を迎えるにあたり大掃除を
して一年間の出来事を水に
流して仕切り直し、新たな
希望に向かい生まれ変わる
つもりでお正月を迎えてき
ました。心、改まるひと時
です。

今こそ、

公(おおやけ)の祈りを

コロナ禍の今こそ、世界
共通の祈り、「公の祈り」の
時であります。「神宮大麻、
石鎚神社大麻は、公の祈り。
日本の国と各家庭の安泰を
祈る。」全ての人がお互いに、我
が家とお隣と町の幸せを祈
り合えれば、争いは起きま
せん。どうぞ皆さま、伊勢
の神宮大麻とご一緒に、石
鎚神社大麻をお受け下さい。
新しい年の始まりです。いつまでもこのままでは
いられない。百年前にも、スペイン風
邪、そしてコレラが流行しました。私たちの祖先はそ
れらに打ち勝ち、今の世に
私たちの「命」を引き継がせ
てくれました。私たちも負
ける訳にはいきません。春
の来ない冬は無く、明けな
い夜は無い、と信じていま
す。

土小屋遥拝殿

御鎮座五十周年

奉祝奉賛会 躍動

土小屋遥拝殿の御鎮座御
屋根の葺き替え、外壁部改
修、周辺整備の大工事が堅
実に進捗しております。本年、土小屋遥拝殿に石
鎚大神様が御鎮座されて、
満五十年目を迎えます。御
社殿は建立三十年以上を経
過して、横や下から吹きつ
ける厳しい風雨雪に痛みも
厳しく、雨漏りとの戦いの
日々の中でした。大神様の御社殿として、
信徒の皆さまの祈りの齋庭
として相応しい改修を行
い、大神様の御祭に、信徒
の皆さまの応接に、一層努
めて参りたく存じておりま
す。現在、全国各地からご奉
賛をお寄せ戴いております。
誠に有難く深謝申し上げげます。今後ご理解ご
協力をくださいます様、
謹んでお願いを申し上げ
ます。

春、いよいよ講習会を

「石鎚本教所属教師講習
会」を、今春も計画しまし
た。神縁を戴きし方々が
集う境内で、学びのひと
時を。神様のお庭で人様
とのご縁を結び、神様と
人様に喜んで戴くための
講習会、ぜひご参加くだ
さい。昨年はコロナ禍で
やむなく休止しました。
参加のご予定でした方々
ぜひご参加ください。

そして、霊峰石鎚へ

迎える雪解けには、招
く霊峰石鎚の御山へ。開
門と共に霊気満々たる大
神様の御懐へ。先達の会
符を持って身体、心、胸
いっぱい、霊気を浴び
てお参りしましょう。皆さまのお幸せと子孫
繁栄を心からお祈り申し
上げます。今年もよろしく願ひ
致します。

宮司敬白。

謹んで初春のお慶びを
申し上げます。

神社・本教 職員一同

名誉宮司・名誉管長

宮司・管長 十亀 興美

権宮司・宗務局長 武智 正人

権宜・宗務局次長 十亀 博行

筆頭権宜 曾我部 英司

権宜 片岡 功好

権宜 佐々木 規人

権宜 大岡 忠徳

権宜 十亀 雅史

権宜 高岡 健

権宜 山崎 浩司

権宜 玉井 安胤

権宜 湊 和樹

権宜 曾我部 洋輔

権宜 勝本 貴大

権宜 片岡 明路

権宜 岡内 壮智

権宜 野村 綾奈

権宜 越智 美月

権宜 山先 成実

権宜 矢野 孝明

権宜 山本 克之

権宜 人見 義一

権宜 高橋 政憲

権宜 岩本 昌美

権宜 西岡 直子

権宜 片岡 恵

権宜 松下 泉美

謹賀新年

石鎚神社・石鎚本教 役員

常務総代・本教理事

中西 幸男

平岡 照彦

湊 吉田 宏

岡村 信一

伊藤 光貞

沖野 和義

氏子総代 十亀 貴文

曾我部 壽正

藤原 拓

本教理事 田窪 一善

加藤 法泰

岡本 嘉孝

監査 秋山 一幸

崇敬組合長・教区長 河端 光則

東予 西条 周桑代行

西条 今治 越智 敏朗

中予 上浮穴 武智 由定

南予 高知 山内 康治

安芸 安芸 三吉 孝文

東洋 東洋 木村 史朗

備後 備後 加藤 法泰

山口 山口 梶原 倫子

福岡 福岡 浦松 傳

大分 大分 大分 傳

神社・本教 名誉顧問

松岡 功

浦松 大八

川西 久美

本教名誉顧問 田辺 紀江

神社・本教 参与 下川 栄市

澁谷 正俊

戸田 正一

渡邊 博毅

眞木 高年

岡本 行成

菅 三十四

重見 幸男

西原 和男

永井 久

岡中 功

梶川 吉彦

坂本 登

岡本 昇

河村 英樹

村井 宗幸

安岡 桂一郎

江藤 秀人

宮司推薦総代・本教評議員 梅原 康孝

川津 守秀

羽生 正史

石田 和史

森田 茂

田中 聡哉

深川 健二

阿蘇 浩造

石鎚本教評議員

入江 伸明

藤本 孝照

坪内 統

沖野 和義

横田 一徳

山中 將史

三吉 真司

川西 久美

加藤 法泰

西田 幸彦

加藤 保彦

湊 喜美子

井上 忠史

石鎚本教 教会聯合会 会長 佐伯 良子

副会長 田窪 一善

加藤 法泰

湊 喜美子

豊友会 会長 山中 將史

副会長 加藤 法泰

勝本 房利

深川 健二

敬神婦人会 会長 岡村 加代子

副会長 江藤 ます子

平松 京子

黒田 明子

叶 一美

青年部 会長 寺川 卓

副会長 古賀 眞子

心石 孝亮

令和三年正月一日現在 順不同・敬称略

令和3年 お正月 初詣のご案内

- ・初春の三ヶ日にご参拝予定の方は、1月15日の、「小正月」までの期間に、ぜひご参拝下さい。
- ・ご参拝には、自宅検温の上、マスク着用、手指消毒、会話控え、距離確保など、三密回避にご協力ください。

○初春に、コロナ禍の一日も早い鎮静化と国家安泰、世界平和、すべての命の幸福を、懸命にお祈りします。皆さまも、ご一緒にお祈りください。

〔 令和 2 年 12 月 1 日現在 〕
社会情勢により変動する場合があります。

- 「御神像拝戴神事」は、例年通りにお申込みをお受けし、ご奉仕させて戴きます。
- 歳旦祭の後、恒例の「御神像拝戴神事」を斎行します。
 - 「御神像拝戴神事」は、お申込みの団体個人の方々のみの拝戴にてお願いします。
「御祈祷」のお申し込みの方へは、「金幣神事」をご奉仕します。
 - ・初穂料 献納 持参か郵送の方へは、神納後、お下がりをお送りします。
 - ・御祈祷、お守り 本社窓口か郵送にて、お申し込みください。
 - ・お正月の縁起物 12月13日「正月事始め」の日から頒布を始めます。

〔 年末・年始 予定 〕

【 本 社 】

12月13日 正月事始め・すす払い・正月縁起物の頒布始め
31日 17:00 大祓式
23:45 除夜祭
正月 元日 00:00 歳旦祭・御神像拝戴・初詣・新春特別祈祷
15日 10:00 月次祭・長寿祭・小正月・命日祭

【 成就社 】

正月 元日 5:00 歳旦祭・御神像拝戴・初詣・新春特別祈祷
・先着 500 名に初詣記念品を贈呈

【 石鎚神社会館 】

- ・「団体様のお食事」は、例年通り承ります。団体様毎にお食事場所をご用意します。
- ・「小豆粥お振舞」「招福うどん販売」は、お休みします。
- ・「甘酒、コーヒー」などの販売は、テイクアウトのみとさせていただきます。
- ・「ご宿泊」は、1月15日からのご予約を承ります。

令和3年 厄年表

石鎚神社では、この厄年・年賀の年齢でのお祓いをお勧めしております。
特に男性の42才、女性の33才は、「大厄」といわれています(数え年)

男性 大厄 42才		
前厄	本厄	後厄
	平成9年生 25才  うし	
昭和56年生 41才  とり	昭和55年生 42才  さる	昭和54年生 43才  ひつじ

女性 大厄 33才		
前厄	本厄	後厄
	平成15年生 19才  ひつじ	
平成2年生 32才  うま	昭和64年生 平成元年生 33才  み	昭和63年生 34才  たつ

還 暦 61才	昭和36年
古 稀 70才	昭和27年
喜 寿 77才	昭和20年
傘 寿 80才	昭和17年
米 寿 88才	昭和 9年
卒 寿 90才	昭和 7年
白 寿 99才	大正12年

※百才以上の方は、毎年お祝い致します。

年 賀 <数え年・男女とも共通>

- ◎それぞれの年賀年齢(数え年)を迎えた年に、神社で年賀のご祈願を受けた後、家族の皆さんでお祝いするのが通例です。
- ◎年賀や厄年のお祓いは、古例では2月1日ですが、その前後の日でも差し支えありません。

石鎚神社では、年間を通して年賀、厄除けのお祓いを致しております。

新春特別祈禱のご案内

石鎚神社では、新春特別祈禱を1月中、斎行いたします。

家内安全	商業繁栄	身体健康	当病平癒	交通安全	大 漁	海上安全
心願成就	諸災消除	事業繁栄	安 産	初宮詣	七五三詣	学業成就
入試合格	良縁成就	厄除延命	年賀命寿	就職成就	など諸祈願	

(上記ご祈禱内容以外は、ご相談下さい。)

私たちは、日頃より天地自然の恵みの中で生かされ、豊かな意義のある生活を送っています。

その中でもとすれば、健康を害し、心の調和が乱れ、人間関係が円滑に行われず、日常生活に支障を生じる場合があります。

新しい年を迎えるにあたり、災厄からのがれ、家内仲睦まじく健康に、諸願成就のご守護を願う特別祈禱をご案内いたします。

ご祈禱初穂料

小木札: 5,000円以上 中木札: 8,000円以上
大木札: 10,000円以上

◎ご祈禱はご本殿にてお申し込み順にご奉仕致します。

◎ご祈禱の受付時間帯(平日、土曜、日曜、祭日とも) 午前8:00より午後4:00までにお越し下さい。

二月二日 神事案内

二月一日 午後五時から
星祭り 祈願納め宵宮祭

二月二日

午前十時三十分から

古神札神納浄火祭

昨年までの古い神札を、浄火を以て焼き納めます。

午前十一時から

星祭祈願納め祭
併せ 節分祭

昨年冬至の日よりお申し込み頂きました方々の星祭特別神札を朝夕に祈願を続け、節分当日の祈願を以て満願となり、祭典終了後、お世話人各位へお渡し申し上げます。

(郵送を希望されました方の神札が手元に届くのは二月三日以降となります)

引き続き

御神像拝戴神事

(当社のみの特殊神事)

厄祓い豆まき



古神札神納浄火祭

◎福引き入り福豆授与

招福うどん振る舞い

(無料、但し数に限りがあります)

◎今年も

愛媛マンドリンパイレーツの

マッピーくんがやってくる!

皆様のご参拝を

お待ちしております。

お誘いあわせて

ご来社ください。

※うどん並びに

マッピーくんに関して

新型コロナウイルスの影響

によりお休みとなる場合も

ございます。

頂上社護持奉賛会
寄付者 芳名簿

令和二年 九月一日から
令和二年十一月十日まで

※五万円以上奉納者
(順不同・敬称略)

◆中予崇敬組合 ◆

壹拾五万円以上

村上 博毅

壹拾万円以上

永井設計事務所
パブリック設計

◆高知崇敬組合 ◆

壹拾万円以上

佐川教会

◆福岡崇敬組合 ◆

壹拾万円以上

東城 陽一
東城 康子
東城 徳孝
東城英理子
東城 桜

真心のご浄財を
賜りました皆様には、
ご奉賛心より厚く御礼を
申し上げます。
尚、奉賛会は今後も
継続しておりますので、
ご協力をお願いいたします。

担当 大岡・岩本

お初穂奉納者

五万円以上ご奉納
いただきました皆様

《成就社》

令和二年十月

◎五万円以上

讃岐神大遙拝所

《本社》

令和二年十月

◎参拾五万円以上

讃岐神大遙拝所

大高 久呼

◎壹拾五万円以上

矢野 棟子

金子 久子

◎五万円以上

田島 大悟

(順不同・敬称略)

また、本社での五千元以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただいております。
ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権瀬宜 大岡

★星祭り祈願の☆案内

令和二年十二月二十一日(冬至)

星祭祈願始め祭 午後四時より

◎ご注意下さい!!

令和三年二月二日(節分の日)

星祭祈願納め祭 午前十一時より

立春の前日が節分の日です。

令和三年は百二十四年ぶりに

二月二日となります。

※節分は年四回あり、

立春・立夏・立秋・立冬の前日です。

星祭りとは、年の変わり目に各人の持つ「生まれ星」を祭り、悪い年は災難を免れるように、良い年は一層良くなるようにと一年間の幸福と除災の祈願を石鎚大神の御神徳をいただいて、本年以上に幸多き年となりますことを祈願するものであります。

星祭特別神札に、ご氏名を記入調整し、冬至の日の夕刻より節分の日まで、神職が朝夕に清祓・ご祈願いたします。

星祭祈願申し込み要項

満願の日である節分の日には、本社にて古神札神納浄火祭に次いで節分祭・星祭祈願納め祭が斎行されます。たくさんの方々のお申し込みと祭典の参列を心よりお待ちしております。

※お申し込みは、所属組合長・教会長・遥拝所長を始め、先達教師の各位並びにお世話をこれまでご奉仕の各位を通じてお申し込みください。心当たりが無い方は、本社星祭り係までご連絡ください。

※初穂料

一件、三百円
外、五百円・千円
二千円・三千円以上

等の初穂料

それぞれの初穂料に応じ星祭特別神札を奉製し祈願いたします。

※祈願札は、節分の後にお世話人様に発送し、皆様方にはお世話人様よりお受け取りいただきます。

お願い

お申し込み各位には、楷書にて文字をはつきり丁寧に記入ください。これを以て神札に記入しますので、宜しく願います。

また本年も帳面表紙に「お世話人補佐」の欄を設けております。これにはお世話人のお手伝いをしていただいてお祈りくださいます。連絡先をご記入ください。これは、お名前など記入不足があった場合、確認等を取らせていただきます。なにとぞご協力をお願いします。

また三千円未満でお申し込み頂きました方には、送料百円を別途お供え頂いております。

星祭特別五号守 五百円以上



6.5cm×3cm

星祭特別二号守・六号守 二千円以上



(二号守) 13.5cm×7.5cm

星祭祈願特別木札・六号守 五千円以上



(木札)高さ37cm

星祭特別六号守 三百円以上



6cm×3cm

星祭特別三号守・六号守 千円以上



(三号守) 9.5cm×6cm

星祭特別一号守・六号守 三千円以上



(一号守) 16cm×9cm

◆ご案内◆

第七十二回 石鎚本教所属教師講習会

三月五日(金)～三月七日(日)

第七十二回を数えます石鎚本教所属教師講習会を令和三年三月五日から七日の日程にて開催致します。

本年は、第一部を実施致します。「先ずは、正坐が出来て足腰しつかりしている方を対象」。主たる講義内容は「基礎作法と神前奉仕の心得、更に実践」です。また内容は、その都度熟達度を鑑みて進めさせていただきます。尚、希望されます方は、申し込み用紙の第一部の欄にお間違えなきよう記入してください。

各組合・教会・遙拝所所属の将来を担う教師志願の皆様、今以上の研鑽をとこ考えの教師の皆様、志ある多数の皆様にご参加いただきますようご案内致します。

記

受講規定

一、先達であること

一、教会所属の方は教会長の承認・推薦、遙拝所所属の方は遙拝所長および教区長の両名の承認・推薦、無所属の方は教区長の承認・推薦のある方

※(特別な事情がある場合は本社までお尋ねください)
一、禊(みぞぎ)行に参加の事

(行衣は各自持参)

- 一、終了奉告祭に祭員として奉仕の事(見学不可)
- 一、期間中の遅刻・早退・中座は認めません

日程

◎集合 三月五日午前七時

(四日・七日の宿泊は無料)

◎駐車場

第一駐車場右手青い建物横へお願い致します。

◎受講料 三万円

(期間中の賄い等の費用)

著衣・教本・昇進料等は別途

◎持参品

筆記用具・白衣・襦袢・帯・白袴・白足袋・草履・笏・印鑑・教本(祭式大成・教師必携)・禊行用褌(男性)・禊行用行衣(女性用)・着替え・洗面用具・ねまき(白い物)

※尚、講習会前日の午後五時より当日の午後正午迄、京都の装束竹重さんが、会館二階にて装束の販売を致しております。ご利用の方はお尋ねください。

申し込み期限
◎二月二十日(厳守)

《教師志願(初めての方)について》

- ①先達資格を有する事
- ②講習受講者である事
- ③教会所属の方は教会長の承認・推薦、遙拝所所属の方は遙拝所長および教区長(崇敬組合長)両名の承認・推薦、無所属の方は教区長(崇敬組合長)承認・推薦のある方
- ④本社の要請に応じられる事
- ⑤住民票と本籍地発行の身分証明書を準備の事

《教師昇進について》

- ①講習会を受講の事
- ②星祭り・大麻のお世話について願書に必ず記入の事
- ③教会・遙拝所への協力・奉仕のある方
- ④本社の要請に応じられる方
- ⑤右、規定に該当し、規約に定める年功に該当承認・推薦のある方

《祈祷免状について》

◎次ページを参照ください。

※教師資格・祈祷免状取得者の中に、教師義務金の滞納、星祭り・大麻のお世話なき場合、規定年数を超えますと、教師資格・祈祷免状の取り消しと

台帳削除を致します。 以上

※新型コロナウイルスの影響により、内容変更となる場合もございます。ご理解の程宜しくお願い致します。

ご不明な点、お問い合わせは、本社・山崎までお尋ね下さい。



石鎚本教所属教師講習会
祈祷免許の申請について

石鎚本教所属教師講習会並びに祈祷免許申請の案内状は崇敬組合長・各教会・遙拝所宛に、十二月末発送。

【祈祷免許申請資格】

- ①教師講習会五回以上受講、内、本社講習会を二回以上受講。
- ②過去三年間、毎年神社大麻十体以上・星祭り祈願三十体以上の奉仕実績。
- ③お山開き大祭に十名以上の先達奉仕のある者。
- ④教師階級は中講義以上。(中講義同時昇進申請可能)
- ⑤教会所属の者は教会長の・遙拝所所属の者は遙拝所長及び教区長の・無所属の者は教区長の承認、推薦のある者。
- (特別な事情がある場合には、本社迄お問い合わせ下さい)
- ⑥将来、講社・遙拝所の組織結成に志せる者。

『祈祷免許申請申し込み期限』
令和三年一月二十五日

『審査概要』

- ①『教師講習会開催迄の事前課題』(未提出者は失格)
- ※事前課題用の奉書紙はご自身でご準備下さい。

②『祭式審査』

③『面接』

☆事前課題の内容については、申請後に詳細を通知。
☆指定された各種課題・期限を始め、本社の指示に延滞の場合、申請資格を失います。
☆審査の流れは、事情により若干の変更の可能性有り。

以上

第 72 回本教所属教師講習会 (令和三年)

講師紹介
石鎚神社宮司・石鎚本教管長 武智 正人 先生
石鎚神社権宮司・石鎚本教宗務局長 十亀 博行 先生
石鎚神社禰宜・石鎚本教宗務局次長 曾我部英司 先生
石鎚神社豊友会 諸 先生

	3月5日(金)	3月6日(土)	3月7日(日)
5-	集 合・受 付		
6-		禊 行	禊 行
7-		朝拝神事・記念撮影	朝拝神事(御神像拝戴)
8-	開講奉告祭	清掃・朝食	清掃・朝食
9-	開 講 式	行事作法	講義・質疑応答 (豊友会)
10-	神社・本教の概要 十亀宗務局長		
11-	本教教師の心得 武智管長		
12-	作法講習(基礎作法)		昼 食
1-	昼 食	昼 食	配列確認・配列・作法講習 (習 礼)
2-	作法講習 (基礎作法とその解説)	行事作法	
3-			
4-	行事作法		終了奉告祭(全員奉仕)
5-			閉 講 式
6-	夕 食	夕 食	直 会 解 散
7-	行事作法	作法講習 (御神像拝戴)	
8-		所役発表	
9-	神道作法について		※都合によりプログラム 変更場合があります。
10-	夕 拝	夕 拝	
11-	入浴・就寝	入浴・就寝	

令和三年度

石 鎚 社 社

大 麻 頒 布

御 世 話 人 御 芳 名

新しい年、神棚に奉斎する

石鎚神社大麻の頒布に際し、

御尽力をいただいております

お世話人の皆様に感謝を申し

上げ、順不同・敬称略では御

座いますが、御芳名を掲載さ

せていただきます。

本来ですと、お世話人全員

の御芳名を掲載すべきでは御

座いますが、紙面の都合上、

大麻五〇体以上の御世話をい

ただいた方々の掲載とさせて

いただきます。大変恐縮なが

らご了承下さいますよう、お

願い申し上げます。

【担当 湊】

＊七〇〇体

高知県

葉山教会

岡村 信一

＊五五〇体

香川県

讃岐神大遙拝所

大高 久呼

＊五〇〇体

香川県

導不動院遙拝所

岩崎 光照

＊四五〇体

福岡県

福岡神和教会

佐伯 良子

＊四〇〇体

大分県

霊威教会

中西 幸男

＊三〇〇体

愛媛県

睦美教会

田窪 一善

龍雲山肱川教会

沖野 和義

吉田教会

越智 汀祐

福岡県

九州石鎚大権現社

須堯 宣行

＊二〇〇体以上三〇〇体未満

愛媛県

神明遙拝所

大西サカエ

今治越智崇敬組合

小林 敏朗

宇和教会

山内 康治

東雲講社

黒田 明子

広島県

三山 和良

高知県

藤村 英子

＊一五〇体以上二〇〇体未満

高知県

和食教会

安岡桂一郎

広島県

中津原遙拝所

高原 政明

山口県

鐘ヶ淵教会

山田 春治

＊一〇〇体以上一五〇体未満

愛媛県

宮脇 櫻

矢部三恵子

香川県

高木 康二

野崎 勝

高知県

佐川教会

片岡 瑞恵

土佐山田遙拝所

長瀬 和夫

広島県

神畑遥拝所

松本 光子

徳島県

脇町遥拝所

藤本 敏男

伊台石鎚遥拝所

神野 武夫

山口県

千早遥拝所

橋本 賢治

山口県

大島教会

中原 輝昌

高知県

足摺岬教会

中澤 幸孝

瀬戸遥拝所

水野 亀市

福岡県

敬祥教会

勝本 房利

福岡県

門司教会

加藤 保彦

岡山県

神心の会

中臣 齊

中子崇敬婦人会

坪内 義和

大分県

大分市教会

長澤 講三

大分県

大分石鎚教会

江藤 秀人

徳島県

神田山教会

三吉 真司

高知県

岡豊山教会

筒井 道晴

大分県

戸次遥拝所

足立 信昭

大阪府

大阪教会

湊 喜美子

徳島県

土佐野市遥拝所

出原 孝文

高知県

永野 武夫

大分県

尺間嶽教会

金子 良美

愛知県

愛知遥拝所

澁谷恵美子

山口県

防府教会

山中 将史

岡山県

大谷山講社

柳本 正勝

*五〇体未満

百人以上の皆様

*五十一体以上一〇〇体未満

愛媛県

伊予市伊予郡遥拝所

水口 泉

直轄大教会

入江 伸明

堀江遥拝所

乙井 佐一

大分県

別府神仰会遥拝所

浦松 大八

大分千歳遥拝所

阿南 廣美

豊の国石鎚講社

姫野 昌訓

岡山県

倉敷中央遥拝所

平松 史朗

広島県

広島西教会

初谷 忠彦

*五〇体

愛媛県

中子崇敬組合

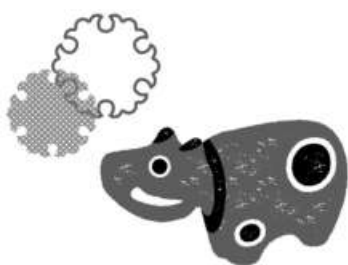
武智 由定

山口 義隆

増田 光香

箱崎 則秀

矢島 峰男



(十一月十五日付)

新穀奉納 石鎚神社 中津原遥拝所

銀笏 元老大顧問
高原 政明 所長



令和二年度
新穀奉納 連続五十二回
奉納者 九十名
奉納新穀 百十二袋

令和二年十一月八日、広島県福山市に鎮座します、中津原遥拝所の皆様が、本社へ新穀を奉納されました。

本年は流行病の都合上、信徒の皆様と顔を合わせる機会が少なく、皆さんの顔を見て挨拶しながら嬉しくて手を取り合っていました。

天候に恵まれ、トラクに積まれた新穀米袋を御神前に御供され、奉納神事を斎行申し上げました。

この新穀のお下がり夏山開き大祭を

始め、春秋の大祭、神事・諸行事に使わせていただいております。

毎年新穀奉納されている方が、今年はお話を伺いました。お気持ちは大神様に届いておりますのでご安心ください!!

来年は皆様お揃いでご参拝くださいますよう、心よりお待ちしております。

記 権禰宜 湊



新穀奉納者御芳名 (順不同・敬称略)

佐藤 康夫	河相美代子	金野 彰子	佐々木道裕	田中音次郎	高原 輝人
戸田 有治	山本 慎治	坂本 友宏	坂本 健司	桑田 悦子	桑田幾治郎
栗田カツ子	栗田 高志	坂口 勝政	広瀬 満幸	小野田照子	高橋 義典
第二精油(株)	園尾 裕	大塚 庸弘	大塚 輝昭	高橋サキコ	岡本富美夫
豊田 尚子	柴田 光枝	佐藤 義定	高原 誠	三木 隆宏	三木 靖加
浦部 由明	安原 健次	倉本 美枝	倉本 哲三	松井 千紘	松井 大記
高垣 豊子	三好 美寛	香西 和子	香西 綾子	松井 憲司	山本 孟男
藤井 幸男	藤井 英子	橋本 正人	橋本 敏子	奥田 喜吉	藤波 定美
長久智佳子	児玉恵美子	土屋 隆宏	佐藤 秀治	大成 正治	戸田 恒司
寺田 洋芳	北村 暢康	北村 淑子	池本 康年	田頭記美子	安達 稔
高原 栄子	佐藤 秀治	池本 康年	荒川 文子	安達 拓也	池ノ内幸徳
信野 徳三	岡原 淑子	荒川 文子	アベックス(有)	多田 芳子	大宮 正喜
北村 昌子	岡原 淑子	荒川 文子	アベックス(有)	岩佐 全純	川相 蓉子
岡原 史郎	池本 康年	荒川 文子	アベックス(有)	柴田 哲男	柴田千重子
荒川 弥生	荒川 文子	アベックス(有)	アベックス(有)	西嶋 進	宇田 定由
荒川 士郎	アベックス(有)	アベックス(有)	アベックス(有)	小野田善紀	小野田正弘
柏原 敏子	柏原 一夫	藤波 光司	金尾 勇	花岡 豪	高橋 和宏
柏原 一郎	藤波 光司	金尾 勇	金尾 勇	小畠 満明	高原 政明
金尾 美苗	金尾 勇	金尾 勇	金尾 勇	小畠 満明	高原 政明



中宮 成就社 災禍消除祭

十二月十三日

去る十一月十三日、中宮成就社にて、災禍消除祭が斎行された。この日は、成就社の大火より四十年を数える日でもあった。

昭和五十五年同月同日、成就社は旅館の失火により、御本殿、見返り遥拝殿を始め旅館売店も一棟を残す悉くが灰燼に帰した。この日を深く心に刻み、二度と起こすまじと神社旅館一同、固い決意の上に防災意識と知識を深め、設備を整え、毎年、災禍消除祭を斎行、防災訓練を行っている。

当日は、武智宮司管長、玉井成就社主任、勝本権彌宜、片岡(明)権彌宜が祭典に奉仕。白石旅館、平原防災、西条市西消防署の皆様が御参列。後、消防署のご指導の下に、総員にて総合防災訓練を実施した。

右、ご報告と致します。

文責、武智。

第五十回

石 鎚 山 三 十 六 王 子 社 巡 拝 報 告

令和二年 十月二十六日・二十七日



さんじゅうろく おうじしや

おおかみさま みこがみ

さんじゅうろくしや

《三十六の王子社とは 大神様の御子神さま 三十六社》

王子社とは、石鎚大神様の御子神様の御社、

霊峰石鎚山中の、三十六カ所にお祀りされている、

古来、先達は三十六王子社を巡拝しつつ、御山に参詣した、

石鎚本教会聯合会主催(佐伯良子会長)三十六王子巡拝行が、一泊二日の行程にて行われました。本年は新型コロナウイルスの状況を鑑み本社職員にて巡拝致しました。全国各地より寄せられました三六八冊「祈願納め札」の総計五十二名のお申し込みを頂き、各王子社では皆様方の祈願札を奏上し、それぞれの王子社の納め箱に奉納致しました。本年も台風の発生に伴いお山の巡拝路の崩壊が懸念されておりましたが、大神様と御子神様のお導きを頂き、二日間の行程も良き天候に恵まれ難所第二十六番・窟の薬師王子社の巡拝路まで怪我無くお導きを頂き、全行程ご加護の元、恙なく巡拝行をさせて頂きました。

改めてお伝え致しますと皆様から寄せて頂きました「祈願納め札」は、各王子社の納め札箱に一年間奉納され、御神徳を賜り諸願成就へとお導き頂きます。またこの度の巡拝行にて、各王子社の祭事にて読み上げました「祈願読み上げ札」は、本社本殿内に一年間お納めして御加護を賜ります。

今回の三十六王子巡拝行は、本社職員のみでの巡拝となりましたが、ご協力・ご理解頂きました組合・教会・遙拝所・講社等の関係各位の諸先生方にこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

併せまして本年も心温まるお接待をして頂きました、極楽寺様・下関教会様・福岡神和教会様・吉田教会様、誠に有難うございます。

次回は五十一回でございます、皆様方のご参加並びにご協力をお願い申し上げます。ご報告致します。

(三十六王子社先達の証)

(三十六王子社巡拝行御守)



(※右の先達の証は、三十六王子社巡拝行五回目的参加者の方に授与され、先達会符に付ける事を許可されます。)



教区長(崇敬組合長)名一覧表 令和2年12月現在

組 合 名	組合が包括する区域	組 合 長 名	住所・郵便番号・電話番号
東 予	愛媛県の新居浜市以東 香川県・徳島県・兵庫県以東	河端 光則	新居浜市中村松木1丁目10番46号 〒792-0041 TEL 090-1006-0158
西条周桑	愛媛県の 西条市	代行 菅 忠 昭	西条市洲之内甲177-1 〒793-0053 TEL 0897-55-3815
今治越智	愛媛県の 今治市・越智郡	小林 敏朗	今治市玉川町小鴨部甲531-6 〒794-0112 TEL 0898-55-2725
中 予	愛媛県の 松山市・東温市	武智 由定	松山市南斎院町1208 〒791-8032 TEL 089-971-2341
上 浮 穴	愛媛県の 上浮穴郡	坪 内 統	上浮穴郡久万高原町日野浦7030 〒791-1503 TEL 0892-56-0378
南 予	愛媛県の伊予市以西 南宇和郡まで	山内 康治	西予市宇和町卯之町4-410 〒797-0015 TEL 0894-62-5533
高 知	高知県全域	出原 孝文	高知県香南市野市町西野370-3 〒781-5232 TEL 090-7144-8024
東洋大心	岡山県と 広島県東部の一部	平松 史朗	倉敷市笹沖179-3 〒710-0834 TEL 086-424-2380
備 後	広島県中部より東	木 村 稔	福山市引野町3丁目33-6-1 〒721-0942 TEL 0849-41-5087
安 芸	広島県中部より西	三吉 真司	大竹市玖波町203 〒739-0656 TEL 0827-57-5278
山 口	山口県・島根県・鳥取県	加藤 法泰	下関市吉見古宿町9-7 〒759-6521 TEL 083-286-5010
福 岡	佐賀県・長崎県・熊本県 鹿児島県・福岡県全域	梶原 倫子	北九州市門司区大里戸ノ上4-2-22 〒800-0024 TEL 093-372-1101
大 分	大分県・宮崎県	浦 松 傳	大分県別府市竹の内6組の1 〒874-0841 TEL 0977-22-9045

十月二十四日 東予崇敬組合 創立百周年大祭成就社にて斎行

河端光則 組合長
先達 元老大顧問
教師 権大講義



頂上社は初霧氷がつき、成就社は朝の気温三度と、お山は冬を迎えようとする十月二十四日午前十一時三十分より中宮成就社にて東予崇敬組合創立百周年大祭が斎行されました。

本社からは、曾我部英司禰宜が出向、東予崇敬組合からは、河端組合長、讃岐神大遙拝所の大高所長を始め十三名の方々、来賓として出原高知崇敬組合長、三吉安芸崇敬組合長が参列されました。

祭員は讃岐神大遙拝所の

方々の奉仕にて行われ、午前十時より本殿にて習礼を行い、その後祭典を斎行。石鎚山を遙拝、御扉を開き、創立百周年を言祝ぐ祝詞を奏上、参列者に玉串拝礼をして頂き、組合長先導のもと大祓詞を斉唱し、滞る事無く祭典は斎行されました。



祭典の後、感謝状、並びに記念昇進が下付され

ました。

感謝状
・琴平教会 黒瀬光一命
・東予崇敬組合徳島支部
・讃岐神大遙拝所

功労章拝受

・銀之笏 大高久呼 元老大顧問

昇進

・元老大顧問 河端 光則
(順不同敬称略)



成就社にて組合大祭が行われること、職員、豊友会員、夏山奉仕者以外での神前奉仕も初めての事で、ご縁を頂き奉仕頂いた方々は

緊張されたと思いますが、祭典後の清々しいお顔が印象的でした。

創立百周年を迎えた東予崇敬組合が今後も河端組合長を中心に益々ご繁栄されますこと、ご参列頂きました皆様のご多幸を祈念しまして甚だ簡単ではございますが、ご報告とさせていただきます。記 権禰宜 曾我部洋輔





祓の御幣のご案内



石鎚神社・石鎚本教の教えである「修祓・修行・鎮魂」まずは祓いあり、と日々にご家庭の神棚のお供え物や家族の方々をお祓いし、清々しい一日を始めて頂く、「祓の御幣」のご案内を申し上げます。ご希望の方は、次のお申し込み用紙に必要事項を記入の上、郵送もしくはFAXにてご連絡をお願いします。

記



☆新規申し込みの方

(祓台初穂料・四千元、祓の御幣初穂料・二千元)計 五千元

◎毎月交換の祓の御幣 初穂料・一千元

◎一定期間、毎月交換の祓の御幣をご希望の方

六ヶ月 一万円 (祓の御幣の初穂料・送料込)

十二ヶ月 二万円 (祓の御幣の初穂料・送料込)

*なお、新規申し込みの方で一定期間送付を希望される方は、その期間の初穂料と祓の御幣台初穂料とをお振り込み頂きます。

*お申し込み後、翌月初めに着くように祓の御幣と振込用紙を送付いたします。

*一定期間を申し込みの方には期間満了月に申し込み用紙を同封させていただきます。記入を頂き、郵送もしくはFAXをお願いします。

ご不明な点がありましたら、石鎚神社祭儀課までお尋ねください。

以上

祓の御幣 郵送申し込み用紙

郵便番号	〒
住 所	
ふりがな	
氏 名	
電話番号	
新規 (新規申し込みの方は、○印をつけてください。 お申し込みには祓の御幣台初穂料四千元が加算されます。) ○一定期間、祓の御幣送付 6ヶ月 (初穂料 一万円) 12ヶ月 (初穂料 二万円) お申し込み後、翌月初めに着くように送付いたします	
ご希望の期間に○印をつけてください 石鎚神社 祭儀課	

明けましておめでとうございます。
旧年中は頂上山荘をご利用いただきありがとうございました。
本年もよろしくお願いいたします。

予約受付開始

1月20日10時～

※電話受付時間

1月～4月：9時～16時
5月～10月：8時～19時

営業期間

5月1日～11月3日
(気象状況により変更する事が有ります。)

予約・問合せ [石鎚神社頂上山荘]
☎080(1998)4591

1泊2食付き 大人：9,000円(税込) 小学生：5,500円(税込)

◆感染症対策のお願い

◎宿泊の受け入れ人数を1日15名とさせていただきます(完全予約制)。

※お山開き大祭のご宿泊の詳細は、現在検討中です。

◎ご持参品

- シュラフ、枕(敷き布団の上での使用)
- *敷き布団のみのご提供となります。
- コップ ●アルコールウェットティッシュ等 ●マスク ●体温計
- ゴミ袋(ゴミは全てお持ち帰りして頂いております。)

◎ご予約・現地受付

- 宿泊者全員の名簿の届出。 ●出発前に検温・体調をお願いします。
- *37.5℃の熱が有る場合や体調が悪い時はキャンセルをお願いします
(キャンセル料は頂いておりません)。
- 県外への移動自粛地域・緊急事態宣言の地域の方のご予約はお受けできません。
- *予約後に事案が発生した場合は、予約の取り消しをお願いさせていただきます。

おかげ話

昭和六十一年七月一日発行(石鎚神社敬神婦人会たかね第十八号より)

今日のひととき

東洋大心福山班 佐藤 ユリ子

お釈迦さまの歩かれたあとには、美しい花が咲いた、という伝説。尊くも、ありがたく、身にしみ入る、あつい思いに浸りながら、さて、自分の歩いて来た人生の道、それなりに精一杯の道のりではあったけれど、そこには一体何があったというのであろう。限らないむなしさの中で、けれど、あと残り少ない生涯を、せめて、せめて今日一日だけでも、いえ、今から数分の間だけでも、私なりの、道らしき道を歩むひとときであつたら……と、硝子戸越しに、今冬はじめての大雪に見舞われた窓外に目をうつしながら、突然、フツトこんな気持ちになりました。そうするものだとかねがね教えられ、聞かされながらも、ぐずぐずして出来なくて、とかくあとへあとへと、のぼして、下積みにされ勝ちだった、気になる未処理の、あのこと、このこと、それは何となく、不得手で、やりにくく、いやな事どもばかり、でも私がどうしてもしな

ければならないこと、それを急に今すぐやってみようと思いました。すぐとりかかりました。あれ程気のりのしないいやな事だった筈なのに、なぜか、そうする事が、自分の特権かのように思われ出して来て、だんだん誇らかな気持ちにさえなつてゆく自分が不思議で、胸があつくなつて来ました。時のたつのも忘れて――。

うれしくも楽しい、有難い、今日のひとときでした。

元旦に拝した雪のお山が今朝の雪と重なつて一際くつきりと眼前に広がってきます。



※奉納

「いしづち泣き相撲」
お知らせ

今般のコロナウィ
ルス禍の現状を片男
波親方との相談して
おり、開催は検討中
となっておりま
す。新たに進展がござ
いましたら当社ホーム
ページにて皆様方に
お知らせ致します。
何卒宜しくお願い申
し上げます。



【 せとうちバス 】

伊予西条駅⇄西之川 運行時刻表

※2019/10/1 現在

路線バス：せとうちバス

西条駅(発)	ロープウェイ前着
7:47	8:41
10:27	11:21
13:37	14:31
16:23	17:17

ロープウェイ前発	西条駅(着)
◎6:56	◎7:50
9:12	10:06
12:02	12:56
15:17	16:11
17:23	18:17

◎日曜日、祝日運休

※停留所多数のため割愛

せとうちバス

周桑営業所 TEL(0898)72-2211
本 社 TEL(0898)23-3450

【 石鎚登山ロープウェイ 】

年末・年始の運行

12月31日(木)	午前8時40分～午後5時
元 日(金)	午前4時～午後5時
2 日(土)	午前8時40分～午後5時
3 日(日)	午前8時40分～午後5時
4 日(月)	午前8時40分～午後5時

(定期便20分毎 臨時便10分毎)

詳しくは各社へお問い合わせ下さい

ロープウェイ料金

大人 2,000円	30名以上 大人1,800円	小人900円
小人 1,000円	100名以上 大人1,600円	小人800円

一年中登山できる
唯一の交通機関

石鎚登山ロープウェイ

西条市西之川
ロープ運行テレホンサービス

TEL 0897-59-0331
0897-59-0101

帰 天

高橋 公男 大人命

最高功労章 金之笏拝受

元老大顧問

十月二十七日

天寿八十六才



去る十月二十七日、元の神社・本教の名誉顧問、高橋公男金笏・元老大顧問が帰天された。

- ・最高功労章 金之笏拝受
- ・元老大顧問
- ・元、神社・本教 名誉顧問
- ・元、頂上社御復興奉賛会長
- ・元、筆頭常務総代本教理事

石鎚生粋の氏子として昭和九年に生を受けられ、昭和四

十八年三十九才にして氏子総代を拝命。爾来、氏子総代、常務総代として神明奉仕。

頂上社ご復興奉賛会長、藤原忠男命の急逝の後、二代目奉賛会長を拝命、工事完成と奉賛活動の達成に尽力された。

各所でのご祭典や総会にも積極的に参列され、本社会議では議長を奉仕。穏やかな誠実なお話し振りは皆様のご記憶にも深いことと存じます。

役員定年後は神社・本教の名誉顧問に就任。後に全ての御役を返納されるも、以降も神社・本教ではご助言を賜っていた。告別式は家族葬にて営まれたと伺います。

高橋公男命の御霊安かれと祈り上げ、ご報告と致します。

ご遺族

嫡男 高橋 亨（アキラ）様

〒七九九一―三三七一

西条市周布一一〇五一―

職員退任

佐藤 崇

職務

会館・頂上山荘

退任日

令和二年十一月三十日



ご挨拶

私が石鎚へ来て十一度目のお山が終わりしました。精一杯、ご奉仕しました。今、思い返すと、あつと言う間でした。

まず、初年度にこのお山で、最高の妻と出会わせてもらいました。

次に、お陰様で松山に居を構えることも叶いました。そして、自慢の愚息も授かることが出来ました。

一言で表すと、世界一の幸せ者にさせてもらいました。

すべて神様のお陰です。楽しい日々の記憶もいっぱいあります。

トイレの額縁で切り取った、伊予灘の茜色の煌めき。

線香花火のような打上花火。

眠らない工場の夜景。

濃紺紫に浮かぶ白濁の川。

ヒュンヒュン飛び交う流れ星。

満月が落とす影の黒さ。

低血圧の臉にやさしい旭

緋。

美味しいお酒も鰻腹いただきました。

仲間と笑い合ったこと。

ぶつかって喧嘩したこと。

すべてが良い思い出です。

優しい人たちに囲まれ、

助けてもらいながら、こ

れまで何とか、やつてこ

られました。ありがとう

ございました。今後の僕

のご活躍に、乞うご期待。

また、いつか、どこかで、

お会いしましょう。

石鎚神社中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝改修工事ご奉賛のお願い

土小屋遙拝殿は、長年の風雨雪により、御屋根銅板と社殿本部の痛みが進み、二十年來の雨漏りも一段と激しくなり、重ねてきた補修も、もはや限界となりました。

令和三年の土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年の記念すべき奉祝年に向かい、施工を進めています。どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

組合・教会・遙拝所・講社の方々は所属の長の方へ。所属のない方は、本社へ直接お声がけくださりますと幸いです。

奉祝奉賛会 役員一同

土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年の歴史

- ・昭和四十五年 石鎚スカイライン開通
- ・昭和四十六年 土小屋遙拝殿へ御神像遷座
同 土小屋遙拝殿建立奉告祭斎行
- ・昭和六十二年 土小屋遙拝殿
改築工事奉賛会発足
- ・平成元年 土小屋遙拝殿建立奉告祭斎行
- ・令和三年 土小屋遙拝殿御鎮座五十周年

銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年來の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。このままでは御社殿自体の損傷が進むと考えられます。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしく、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これからの維持管理の為、外回廊の防水工事、石畳の一部改修また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。



11月24日の様子



土小屋遙拝殿



11月24日の様子

ご奉賛頂きました皆様へは、下記の対応をさせていただきます。

奉 賛 金 額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲 額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

◎ご芳名 全てのご奉賛者のご芳名を、土小屋遙拝殿に永久保存

◎銅板記名 銅板へお名前を記名

※銅板記名対応は、御屋根葺き替え完成直前までとさせていただきます。

※下記は、工事完成後に対応させていただきます

◎御神札 本奉賛会にて特別に奉製された御神札

◎記念品 本奉賛会、記念品

◎感謝状 本奉賛会、感謝状

◎掲額 土小屋遙拝殿内に、ご芳名を掲額

◎ご案内 奉祝大祭にご案内

◎銅板奉納 ※1口・2,000円～。

- ・本社、土小屋遙拝殿社頭にて
- ・お名前の記入は1名とさせていただきます。
- ・受付は、お世話人様を通じて。

改修工事 予算

御屋根 銅板の葺き替え	五二、〇〇〇、〇〇〇円
外部壁 木材の張り替え・防水対策	一八、〇〇〇、〇〇〇円
周辺整備	五、〇〇〇、〇〇〇円
奉祝大祭・奉祝式典・芳名掲額・予備費	一〇、〇〇〇、〇〇〇円
予算 総合計	八五、〇〇〇、〇〇〇円

真心からのご奉賛を、誠に有難く、深く御礼を申し上げます。
今後、ご奉賛活動に深いご理解とご協力をくださいます様、
心からお願ひ申し上げます。

宮司 敬白

香川県妙伝遙拝所 遙拝所長 就任

十一月一日、香川県高松市の妙伝遙拝所の遙拝所長が就任されましたので、ここに報告させていただきます。

遙拝所長

築地 一書(カズミ) 取締



連絡先

〒七六一八〇二六

高松市鬼無町鬼無

四四四一

TEL 〇九〇一四五〇六

一二九三五

記 権禰宜 曾我部洋輔

令和3年 祭典・行事 日程予定 (8月まで)

2月	2日	火	本社	10:30	古神札神納浄火祭・節分祭・星祭り祈願納め祭
※令和3年の節分は124年ぶりに2月2日となります。ご注意ください。					
	20日	土	本社		石鎚敬神婦人会 本部役員総会
3月	5~7日	金	本社		石鎚本教所属教師講習会
	6日	土	本社		審査会・役員ミーティング
4月	1日	木	土小屋		土小屋遙拝殿 開門
	4日	日	本社	10:00	役員会・さくら祭前夜祭
	5日	月	本社	10:00	石鎚神社春季例大祭 さくら祭
	6日	火	本社	10:00	祖霊殿例大祭・合祀祭、翌日後宮祭
	30日	金	成就	11:00	役行者尊 例大祭・お火焚き祈願祭
5月	1日	土	頂上	11:00	開門祭
	上旬		本社	終日	いしづち泣き相撲・お宮で文化祭(変動あり)
	23日	日	本社	9:00	御神像奉持習礼(前日懇親会)
	23日	日	本社	15:00	役員会
	24日	月	本社	10:00	総代、評議員会、奉賛会理事会
	29日	土	本社	15:00	企業崇敬者大会 拝戴・講演・直会
7月	1日	木	全山		お山開き大祭。6月30日 7月11日神輿渡御
	下旬			13:00	役員会
8月	8日	日	成就	11:00	八大龍王社 例大祭・お火焚き祈願祭
	中下旬		全山		青少年錬成会
	28日	土	本社		太鼓講習会 28日 29日

天狗と役小角(えんのおづぬ)

「天狗」の意味は、もともとは字の通り「天の狗(いぬ)」です。中国から伝わり、元来は「流星」を意味していました。隕石が大気圏に突入し、大音響を発し輝きながら落下する様子を、咆哮を上げて天から駆け下りる「犬」に見立てたもので、その不可思議な現象を「天狗(てんこう)」という月を食するという犬(四つ足の伝説上の麒麟の様な姿)の妖怪の仕業としたのです。

さて、日本における文献での「天狗」の初出は「日本書紀」の記述となります。舒明天皇九年の時(六三七年)二月、都の空を巨大な星が雷の様な

轟音を立てて東から西へ流れたとあります。この時、第2回遣隋使として随に派遣され、二十四年間仏教と易学を学んで帰国していた僧の旻(みん)が、「これは、天狗(あまつきつね)の時は「狗」をキツネと発音)であり、その吠える声が雷に似ているだけだ。」といったのです。

ですが、天狗イコール流星というイメージは日本では定着しないで、「天狗」の言葉が日本国内に広まる間に姿形や意味も特有のものになって行きます。

現在の姿形のイメージは赤顔長鼻で白髪を垂らし、背中には羽根が

あり、高下駄に山伏の格好で手には羽団扇を持っているというのが一般的です。その姿は、一説には、日本近海で難破した船から山中で生活を送っていた外国人を模したものともいいます。

意味も流星(犬の妖怪)から、山伏の格好をした神通力をもつ人型の妖怪、あるいは神様、またその使いへと変化してきました。

ちなみに、魔除けにもなるというヤツデの葉は「天狗の葉団扇」とも呼ばれています。天狗が持っているのは、天狗の羽根でつくられた団扇であって、ヤツデの葉ではありません。

石鎚山は、飛鳥時代(六八五年)に役小角によって開山され、以来、西日本最高峰の修験道

の霊山として深い信仰を今に伝えていきます。その小角は、江戸時代に没後千年以上経って当時の光格天皇から神変大菩薩(じんべんだいぼさつ)という諡号(しごう・おくりな)を送られましたが、それ以前は「法起坊菩薩・ほうきぼうぼさつ」と称えられていました。

また「天狗経」という経文には「石鎚山法起坊」という天狗が登場します。これは役小角の天狗名とされ日本の四十八天狗に数えられ、さらに日本八大天狗のひとつとも別格ともされています。

文責 祢宜 曾我部英司

NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

※石鎚森の学校2020
★森林保全活動★

【日 時】11月5日(木)

9時ロープウェイ登山、
13時40分ロープウェイ下山【場 所】石鎚山成就地区の
第2園地遊歩道の風倒木処理
と30人掛けベンチ周辺の笹刈

【主 催】石鎚森の学校

【参加者】コロナ禍を考慮し、
今回は事務局スタッフのみ5
名/曾我部英司事務局長、岩
本昌美、黒河由佳両事務局ス
タッフ、秋山一幸、藤原隆子
両サポートスタッフ恒例の石鎚山成就地区の森
林保全活動が無事催行できま
した。例えば、新年度になっ
て自主イベントで実施したの
は、今回の森林保全活動が初
めとなりまます。例年ですと
4月から11月までに30件以上
の関係活動が発生しているは
ずですが、今年は本件含めて
7件、こんな年もあるのだ
すね。とはいえ、今回の森林保全活動は、当法人の主たる
活動の一つになるので、予て
よりどうしても実施したく
思っていました。事務局ス
タッフのみの参加ながら、活
動が無事に終了し、一安心す
るとともに久し振りの達成感
を現地で覚えました。当日は、紅葉の季節は過ぎ
たものの爽やかな晩秋の風が
成就地区の森に流れていまし
た。空はどこまでも青く、高く
作業をしていると汗ばむ程の
天候。気持ち良い汗をスタッ
フ一同流すことができました。
今回の活動範囲を「第2園地
の遊歩道を塞ぐ風倒木の整理
と30人掛けベンチ周辺の笹刈
り」と設定して、それぞれが
手鎌とノコギリを手に奮闘。
：ほぼ予定時間を以てその目
的を果たすことができました。
事務局スタッフのみでも、力
を合わせると思いの外の作業
力が生まれることを今回始め
て知り得た次第です(笑)。
また、以前のように多くの皆
さまと成就地区の森で汗を流せる日があることを心から楽
しみにしています！皆さん、
お疲れ様でした！※創作神話昔話
「あ(明)ける」
リハーサル2

【日 時】11月6日(金)

9時～18時

【場 所】ミューゼ灘屋(伊予市
灘町)

【主 催】ひとつき楼

【協力】石鎚神社、NPO
法人石鎚森の学校【事務局参加者】曾我部英司
事務局長、岩本昌美事務局ス
タッフ先般来ご案内の舞台作品の
現場リハーサルの2回目を実
施されました。今回は、演者のみ(アマテ
ラス役、プロバレエダンサー！
久寿奏恵さん、鏡職人役、プ
ロ篠笛奏者・阿部一成さん、
語り部、大いなる存在役、曾
我部事務局長)が集つてのリ
ハーサルです。今後、11月にもう一度、演
奏者(ピアノ、篠笛、大太鼓、
締太鼓)、音響、照明、撮影
編集担当者を交えてのリハー
サル。そして12月6日には、
最終リハーサルを経て午後7
時よりオンライン舞台が展開

され、同時に本編のビデオも収録されます。曾我部事務局長も次第に担当役が身についてきた様です。素敵な作品に仕上がりがそうです。緊張もありますが、何故かワクワクと昂揚感も浮上してきました。本番が楽しみです！

※令和2年度

石 鎚 山

環境啓発登山(秋季)

【日 時】11月8日(日)

9時～15時

【場 所】土小屋ロータリー
集合2の鎖元トイレ休憩所
にて講話～山頂～下山

【主 催】石鎚山クリーンアップ協議会(事務局、愛媛県自然保護課)

【実施内容】清掃活動、石鎚山公衆トイレ休憩所に砂利を搬送、石鎚山の環境保全についての講話

【参加者】約100名

【事務局参加者】曾我部英司
事務局長、岩本昌美事務局
スタッフ、秋山一幸、藤原隆子
両サポートスタッフ

石鎚山クリーンアップ協議

会が主催する恒例の事業が開催されました。この事業は、例年春季と秋季に各1回実施されていましたが、本年の春季はコロナ禍を考慮して中止、秋季は無事実施された次第です。



コロナ禍ながら、国のゴートウキキャンペーンなどの政策にもよるのか、はたまた屋外という安心感もあるのか、お盆の頃より石鎚山を訪れる方々が増え始め、9月、10月、11月の好天時の土曜日や日祭日は、来山者が急増してきました。当日も土小屋の駐車スペースは早朝より満車、下山時に通った瓶ヶ森林道も夕刻

が近い時間なのにかなり多くの県外ナンバーの車と対向しました。しかし未だコロナ禍にあるのは事実です。登山も感染症対策をとって安全に楽しく臨みたいものです。

今回の登山も、県の担当氏から曾我部事務局長に講話の依頼を頂き、合わせて「笑いをとって♪」とのリクエスト。

：無事にお約束は果たせたとです(笑)終日、風が吹き2の鎖元の気温は4度。体感温度は、かなり寒い日となりましたが、天気も良く無事に事業も終了しました。ご参加の皆様、お疲れ様でした。また、石鎚山でお会いしましょう！

※愛媛県

エコツアー検証事業 お山の案内人ツアー

【日 時】11月12日(木)

12時45分～15時

【場 所】ロープウェイ成就
駅・成就社

【ツアー実施】

(株)tabitabinfo

【参加者】県自然保護課担当氏、

(株)tabitabinfo 担当氏、
T-mountain 代表氏等計6名

【事務局担当者】
曾我部英司事務局長、
岩本昌美事務局スタッフ

標記のとおり、コロナ禍における成就地区のエコツアーガイドを担当させて頂きました。今回は参加者の検温、手指消毒そしてマスク着用によるツアーです。

ですが、登山中のマスク着用は、呼吸しずらくもなるので、屋外とはいえ密にならない状況を設定し、時折マスクを外して頂きガイドするなど普段に無い工夫で対応しました。



文責 事務局長 曾我部英司

「笹倉湿原」

さざうしつげん



十二支生れ年の性格

【子の年】は細かな事に気がついて、無駄づかいせず、掃除好きなり、苦勞の中に貯めた金、失う恐れがあるので注意。

【丑の年】は辛抱強く、根気よく、言葉少なく、信用もあり、好嫌いありて、押強く、腹立つ時は止めようもなし。

【寅の年】は考え深く、落ちついて、人のかしらと敬われつつ、高ぶり過ぎ、気まま勝ち、とかく目上と事を争う。

【卯の年】は世辞と愛嬌ある故に、人氣もありて、福德もあり、とりとめもなく遠慮して、人のかわりに苦勞するなり。

【辰の年】は人に立てられ、威勢よく、思わぬ人の引立てもあり、へつらいもなく気短かで、負けず嫌いが損のもととなり。

【巳の年】は心の奥の深くして、余裕あれども見栄張らず、人に対して疑いとねたむ心をおさえるように。

【午の年】は調子よろしく世辞上手、人氣もありて、金回りよし、陽気ばかりで根気なく、うわべを飾る事は控えて。

【未の年】は人をあわれみ、品もよく、芸はあれども高ぶりもせず、取越苦勞、遠慮勝ち、危(あや)ぶみ過ぎて迷う臆病。

【申の年】は才もありて器用なり、人の氣を取るうちは安楽、周囲の人から認められ、調子に乗ると損もするなり。

【酉の年】はあれもこれもと忙しく、働き乍(なが)ら日を過ぎたり、氣変り多く、きまりなく、身分にあまる大望は損。

【戌の年】は義理を守りて、正直に、人のためには陰ひなたなし、骨折損が多くとも、くよくよせず自信をもって。

【亥の年】はきまりよろしく、大望も貫く程の強き気性ぞ、あととき見すの氣早にて、孤立しやすく、損もするなり。

石鎚神社 ホームページ

QRコードについて

石鎚神社のホームページはスマートフォンなどにも対応しています。

左記QRコードをスマートフォンで読み込みして頂きますとご覧頂けます。

祭典や季節の情報などもアップして参りますので皆様も登録の程、よろしくお願い致します。



石鎚神社 HP
QR コード

石 鎚 社 報

〒七九三-八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五-四〇四四 本社

五五-七二四二 FAX

五五-四一六八 会館

五五-七二八一 FAX

五九-〇一〇六 成就

五九-〇四〇八 FAX

五三-〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八-〇〇一八三六〇

【発行代表者】武智正人

【編集】山崎浩司

【印刷所】プリ・キュウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社

で 検索